

APAC Cohesion Cloud Ready Data Center Apstra AI によるデータセンタファブリックの運用

Tech Roundup Q1-2023

ジュニパーネットワークス株式会社



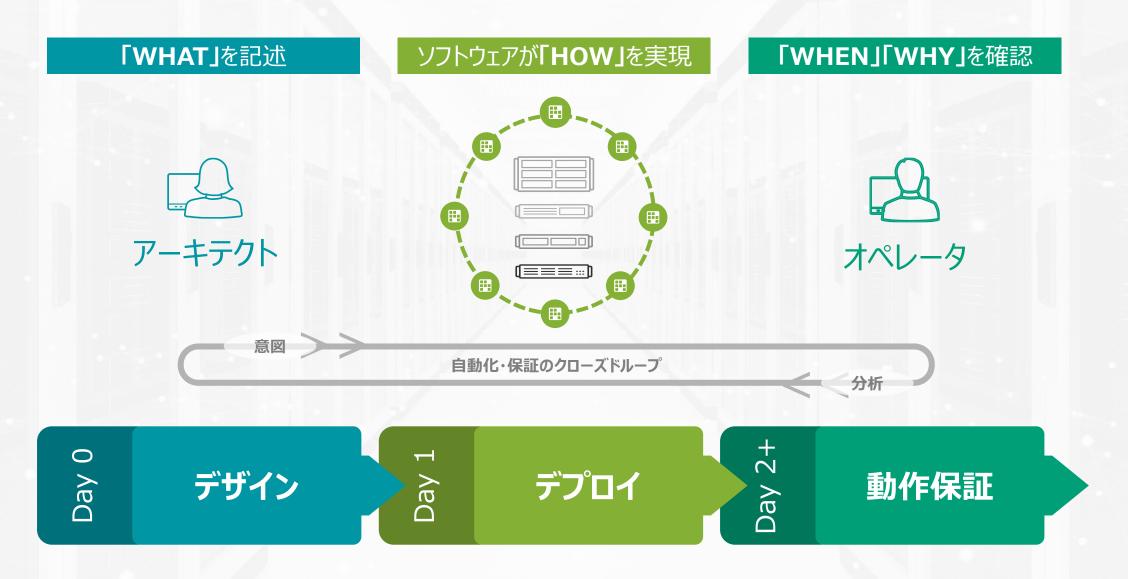


Agenda

- •Apstra 第 1 四半期のアップデート
- •データセンタスイッチングアップデート



統一されたソリューション、一貫したエクスペリエンス





ブランディング



ジュニパーブランディングの最新情報:Apstra の新ロゴ

Hub で新しいロゴが使えるようになりました https://juniper.widen.net/s/qxvdlsrpgx/220068_brand_jn_apstra









Juniper Apstra[™]



リファレンスデザイン



EVPNリーフ(MAC-VRF)としての Junos EVO のサポート

- ジュニパーの新機種、特に 400G プラットフォームは、Junos EVO NOS にしか対応していません
- これらの EVO 専用デバイスをリーフとして使用するには 新しい設定コンストラクト interface-type mac-vrf が必要です
- 現在、Junos、ひいては Apstra は、すべての設定を デフォルトの仮想スイッチインスタンスで行っていました
- edit > routing-instance 階層に新しいコンフィギュレーションコンストラクトを追加しました
- MAC-VRF のコンフィグでは、タイプのルーティングインスタンスを個別に設定する必要があります
 - vlan-bundle
 - vlan-based
 - vlan-aware
- EVO と Junos のリーフ間の相互運用には、VLAN を考慮したインスタンスタイプを使用する必要があります



新しい NOS とデバイスプロファイル



NOS 新バージョン

NOS のバージョンサポートを追加	NOS のバージョンサポートを追加
Arista EOS	JUNOS (IP フォワーダまたは EVPN リーフ)
4.27.6M	20.4R3-S3
4.27.4M	21.2R3-S32
4.25.3.1M	21.3R3
4.24.5M	22.2R2
Cisco NX-OS	JUNOS EVO (IP フォワーダの役割)
9.3.8	20.4R3-S3-EVO
10.1.2	21.2R3-EVO
9.3(10)	21.4R3-EVO
10.3(1)	22.2R2-EVO
Enterprise SONiC	JUNOS EVO (EVPN リーフの役割)
4.0.2 (Cyrus)	22.2R2-EVO
3.5.4	
3.5.3 (Buzznik Plus、推奨バージョン)	

新しいデバイス、シャーシ、ラインカードプロファイル

デバイスプロファイルの追加	シャーシプロファイルの追加	ラインカードプロファイルの追加
Arista DCS-7280SR3-48YC8-F	Cisco Nexus 9508	Cisco N9K-X9732C-EX
Juniper EX-4400-24MP	Juniper PTX10004/8/16	Juniper PTX10K-LC1201-36CD-LC
Juniper EX-4400-48MP	Juniper QFX5700	Juniper PTX10K-LC1202-36MR-LC
Juniper ACX7100-32C		Juniper QFX-FPC-4CD (4x400)
Juniper ACX7100-48L		Juniper QFX-FPC-16C (16x100 MacSec)
		Juniper QFX-FPC-20Y (20x10/25g/50g MacSec)



アップグレード



4.1.2 ヘのアップグレードパスをサポート

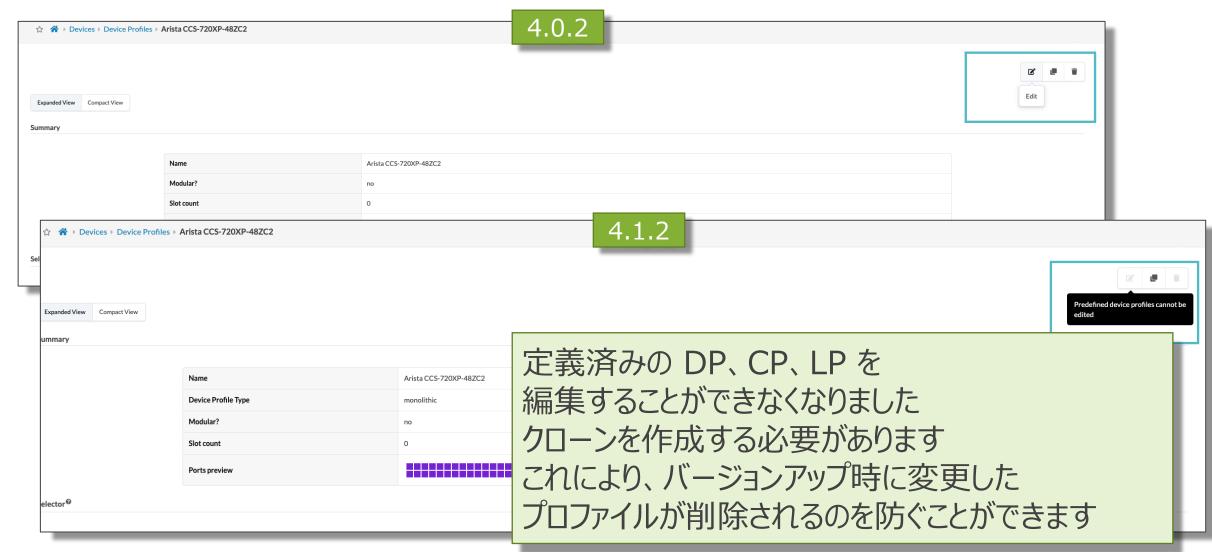
現在のバージョン	アップグレードバージョン	方法
4.1.0	4.1.0 4.1.1	VM to VM (推奨製品)導入時
4.0.0	4.0.2 4.0.1 4.0.0	VM to VM のみ

重要!

Apstra サーバーをアップグレードする前に、すべての Apstra 管理対象デバイスがお使いのリリースでサポートされるバージョンを実行していることを確認してください

サーバーをアップグレードする前に、デバイスのオペレーティングシステムをサポートされているバージョンのいずれかにアップグレードまたはダウングレードしてください

定義済み DP、CP、LP の保護

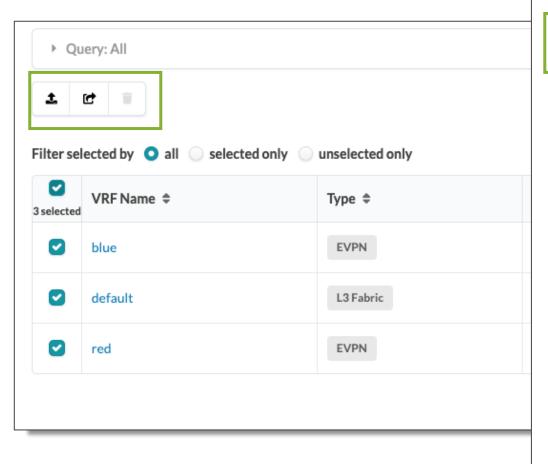


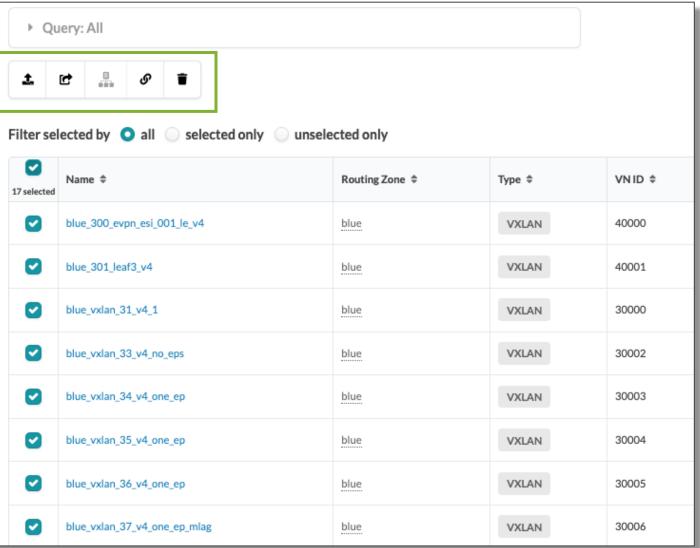


オペレーション

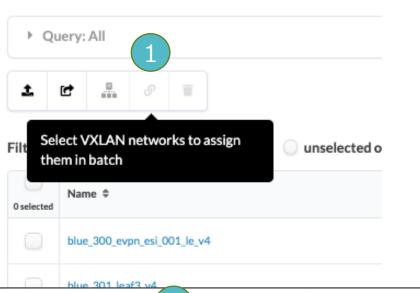


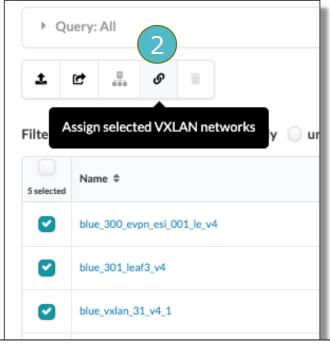
VN と RZ の一括操作





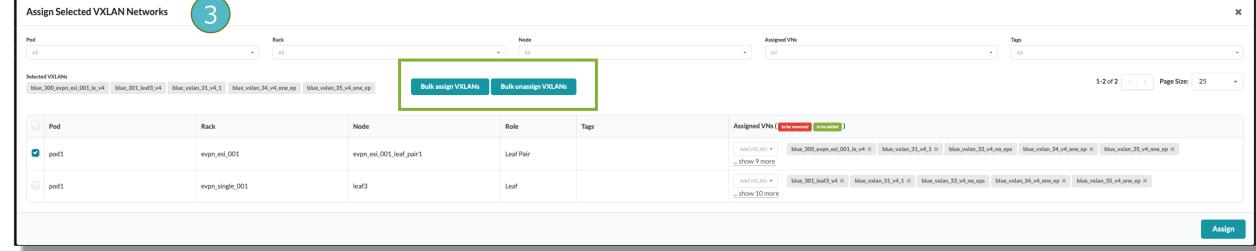
VN をラックに一括割当



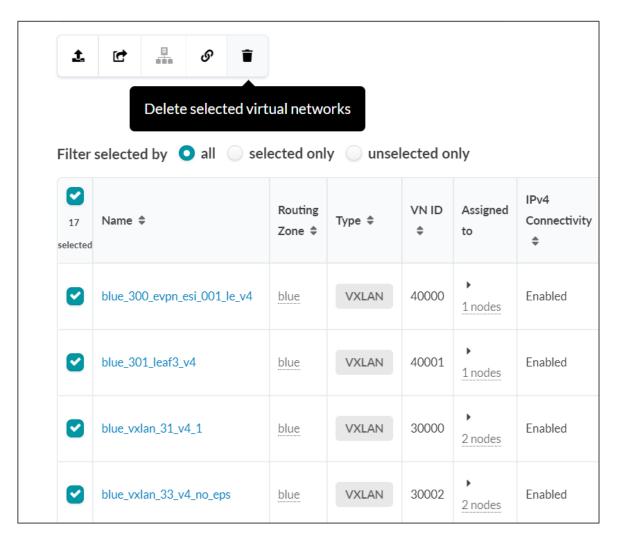


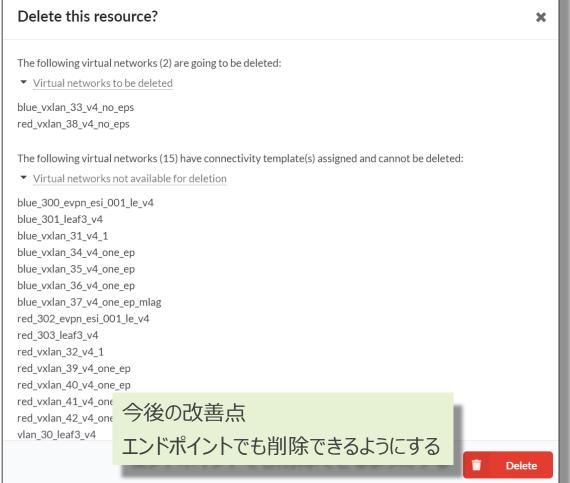
例

- 20 の新しい VN を作成 15 ラックに割り当てる場合
- 4.1.2 より前のバージョン
- 各 VN に入り、ラック割り当てを更新
- 4.1.2 では
- ・ 複数の VN を選択し、選択した全ての VN のラック割り当てを一度に追加・更新



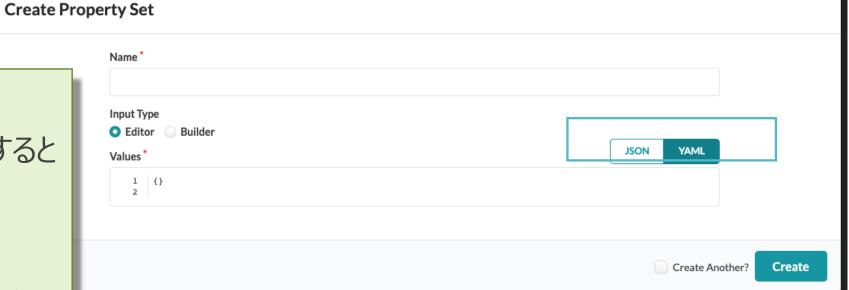
VN の一括削除





YAML を使用してプロパティセットを定義可能にするオプション

オプションで、プロパティセットの Input Type Editor Builder 定義と管理に YAML を使用すると Values * よりユーザーフレンドリーで 冗長でないデータモデリングが 可能になります また、Ansible の host vars や group_vars のように 他のツールで既に定義されたデータ 構造の移行も容易になります



プロパティセットで高度なデータ構造をサポート

プロパティセット機能が拡張されサポートされるようになりました

- Simple value
- List
- Dictionary

UI では、リストや辞書の要素を +/- ボタンで追加/削除することが できます





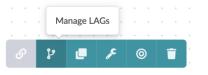
フリーフォーム



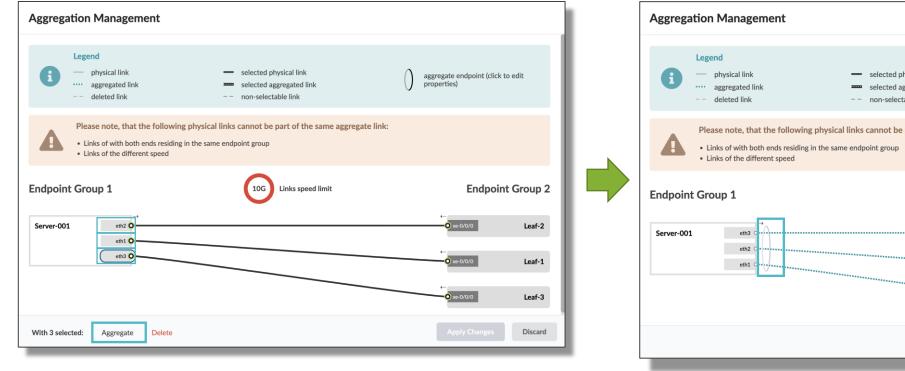
ブループリントのリソース配分

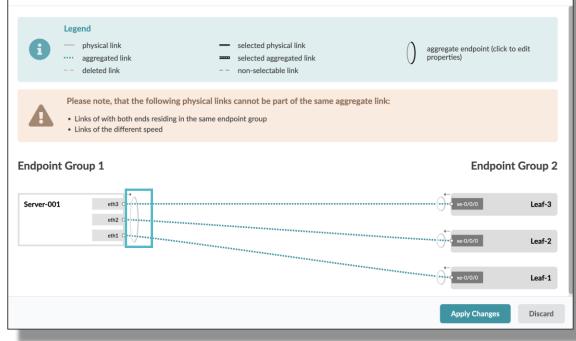


Cabling-Map Editor に新しい LAG 機能が追加

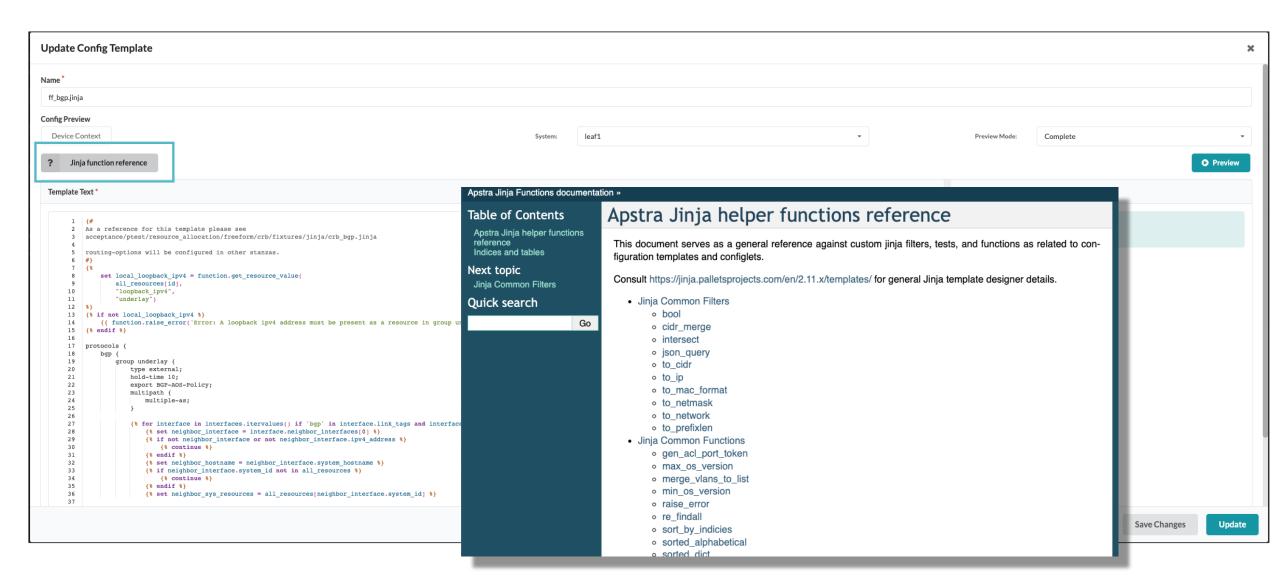


- Freeform Cabling-Map エディターに Link Aggregation 用の新しいモデルが追加されました
- ウィンドウの左右端にノードを移動して Endpoint グループを決定し 複数のリンクを選択して「Aggregate」を クリックします
- 複数ノードで構成される Endpoint グループ間で N-Way ESI LAG を作成できるようにしました





カスタム Jinja フィルタのサポート





QFX アップデート



プラットフォームの範囲と役割

QFX5120-48Y QFX5120-48YM QFX5120-32C QFX5120-48T

サーバーリーフ、ボーダーリーフ

PTX10001-36MR PTX10004 PTX10008

CRB スパイン

QFX5220-128C/32CD QFX5210-64C QFX5120-32C

リーンスパイン [ERB , BO]

ACX7100-48L ACX7100-32C

サーバーリーフ、ボーダーリーフ

QFX5130-32CD QFX5700

サーバーリーフ、ボーダーリーフ

MX

DC GW

ライセンスに関する最新情報

ライセンス階層の更新:

MC-LAG 機能が Base Tier (ライセンス不要) にて利用可能になりました

QFX ライセンス階層:ユースケースに基づく階層化

Premium Software License (includes customer support)

Connecting to WAN

Advanced 2 features, Layer 3 VPN, LDP, RSVP, Layer 2 circuit, EVPN-MPLS, Segment routing, and MPLS

Advanced Software License (includes customer support)

Advanced 1: Data center fabric (IP Fabric)

Advanced 2: Data center fabric (including EVPN /VXLAN)

Standard features, BGP, IS-IS, FBF, VRRP, Layer 3 (static), GRE tunnel, OSPF, RIP, sFlow, and Virtual Chassis*

Advanced 1 features, CFM, Q-in-Q, VXLAN, PCEP, ESI-LAG, Timing, Ethernet OAM, EVPN-VXLAN, IGMP version 1, IGMP version 2, and IGMP version 3, PIM, and Multicast Listener Discovery (MLD) version 1 or version 2

Standard Software License

Customer Support

Basic Layer 2 switching or basic Layer 3 forwarding

BFD, Filters (Layer 2 and Layer 3), Layer 2 (xSTP, 802.1Q, LAG), Layer 3 (static), QoS (Layer 2 and Layer 3), MC-LAG*, and SNMP



THANK YOU

